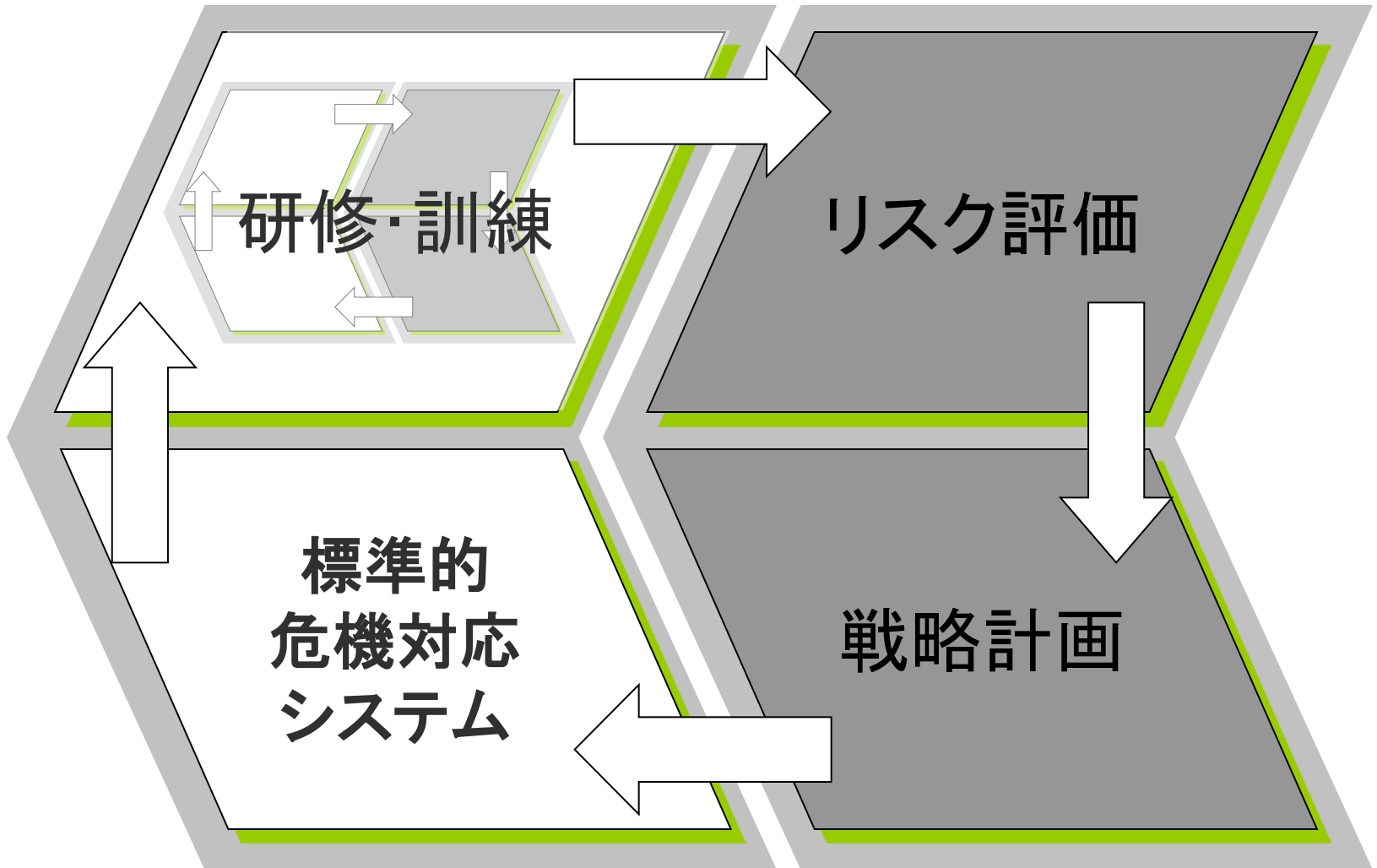


# 防災戦略計画

京都大学防災研究所  
巨大災害研究センター  
牧 紀男

# Business Continuity Managementの4段階



# 計画の策定とは

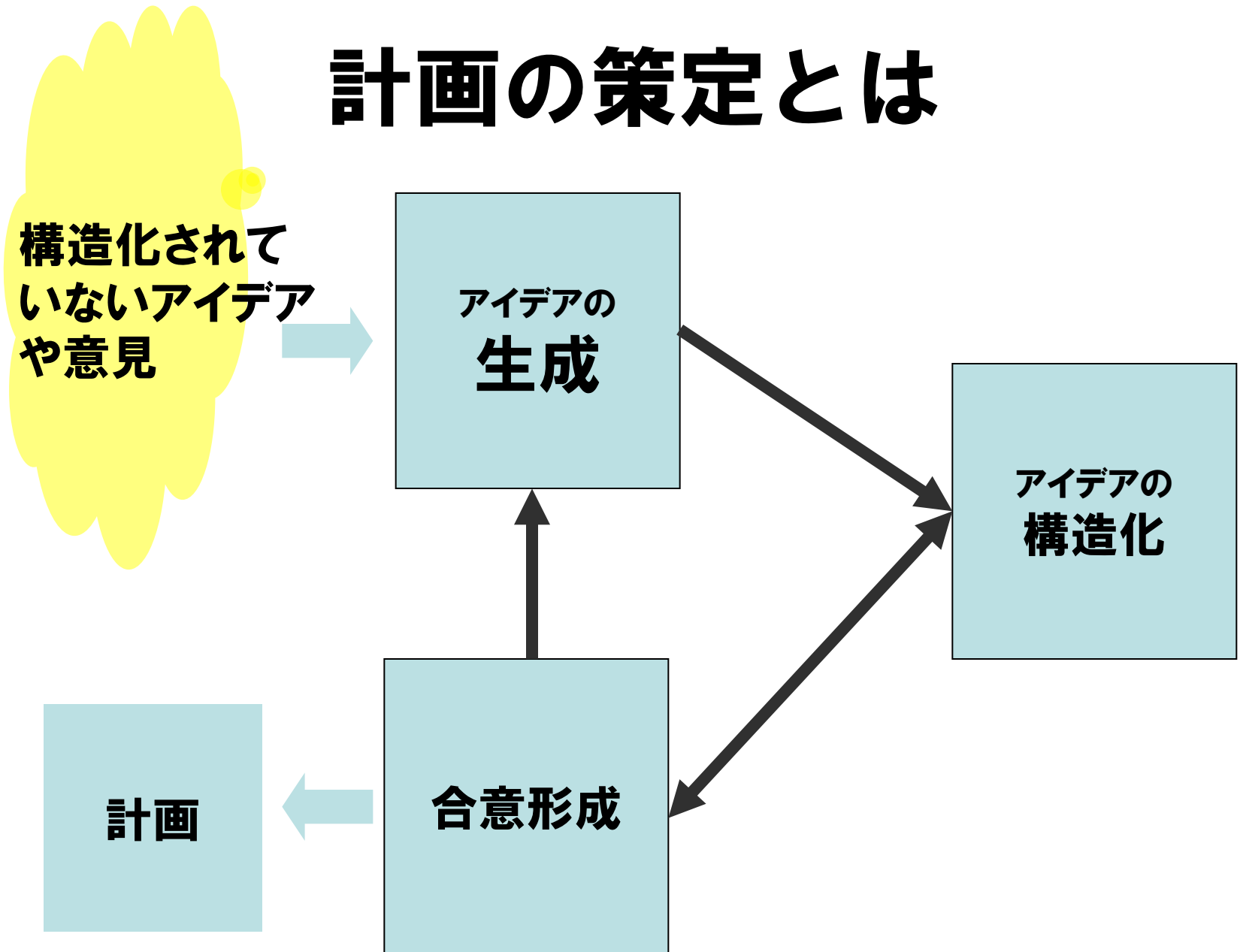


図5 計画策定のプロセス

# K大学にとっての重大な危機シナリオ

外的・非日常的

台風  
マスコミによる批判  
地震＋ライフライン対策

外的・日常的

交通事故  
火災

イベント事故  
情報セキュリティ

内的・非日常的

不法車両問題  
ハラスメント対策

内的・日常的

# 戦略的防災対策指針の構造と計画策定のプロセス

地震等の大災害から構成員の生命・身体・財産を守り、安心・安全、希望の京都大学を実現する。

基本理念

達成目標1

達成目標2

達成目標3

施策

施策

施策

施策

施策

施策

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

目標  
アクション

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

事務事業

第1回WS

第2回WS

# ワークショップで守るべきルール

- 議論は空中戦ではなく、カードに書いて地上戦とする
- 1枚のカードには、ひとつのアイディアを文章として書く（体言止めをしない）
- 簡潔に書く
- 書いたことを要領よく、一人一人順番に発表する
- お互いの発表を聞く

# ワークショップの進め方

1. カード書き（10分）
2. アイディア共有（15分）＜順番に発表＞
3. グループリング（グループリングしてタイトルカード＜文章、ピンクカード＞をつけます。）（20分）
4. タイトルカード間の関連づけ（20分）
5. 発表者を決めてください。

**最終目標「地震等の大災害から構成員の生命・身体・財産を守り、安心・安全、希望の京都大学を実現する。」**

## **カード書き（10分）**

**一人最低5枚**

**相談しない。**

**これぞ、というよいアイデアを期待します。**



**最終目標「地震等の大災害から構成員の生命・身体・財産を守り、安心・安全、希望の京都大学を実現する。」**

## **アイデア共有（15分）**

- ・順番に発表  
（同じアイデアは同時出す。）**
- ・人のアイデアを聞いて新しいアイデアを思いついたら、その場で追加。**

**最終目標「地震等の大災害から構成員の生命・身体・財産を守り、安心・安全、希望の京都大学を実現する。」**

## **グループピング（20分）**

- ・いくつかのカードをまとめて、タイトルカード（ピンク）をつける。**
- ・タイトルカードは文章で。**
- ・大きなグループにしない<ボトムアップでまとめる>、2~3枚で1グループ**

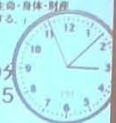
**最終目標「地震等の大災害から構成員の生命・身体・財産を守り、安心・安全、希望の京都大学を実現する。」**

# **タイトルカード間の関連づけ (20分)**

- ・タイトル間相互の関連（因果関係、施策の上下等々）を整理してください。**
- ・多様な整理の方法を期待します。**

最終目標「地震等の大災害から市民の生命・身体・財産を守り、安心・安全、希望の京都を実現する。」

グループワーク(20分)  
2:55-3:15



- いくつかのカードをまとめて、タイトルカード(ピンク)をつける。
- タイトルカードは文章で。
- 大きなグループにしない<ホトムアップでまとめる>。1シート1グループ



# 政策目標

1. 地震に強い京都のまちづくりを進める。
2. 地震時のすまいの安全、地震後のすまいの安心を守る。
3. 地震に強い京都の人づくりを進める。
4. 行政の危機対応能力の向上を図る。
5. 災害後の府民生活を守る。
6. 京都らしさを保った復興を実現する。
7. 京都経済・活力を維持する。

# 奈良県防災アクションプログラム 施策の柱

予防  
対策

物理的抑止力の  
向上  
民間の防災力  
向上

1. 物理的に強い県土を作る

2. 民間の防災力を向上させる

災害対応  
の資源

情報システム  
人的資源

3. 的確な情報処理を実施する

4. 有能な人的資源を十分確保する

応急対策

5. 県民に対して5つのサービスを行う

人命

5.1 命を守る

安全・安心

5.2 安全・安心を守る

生活基盤

5.3 生活基盤を安定させる

県民生活

5.4 県民の生活を支援する

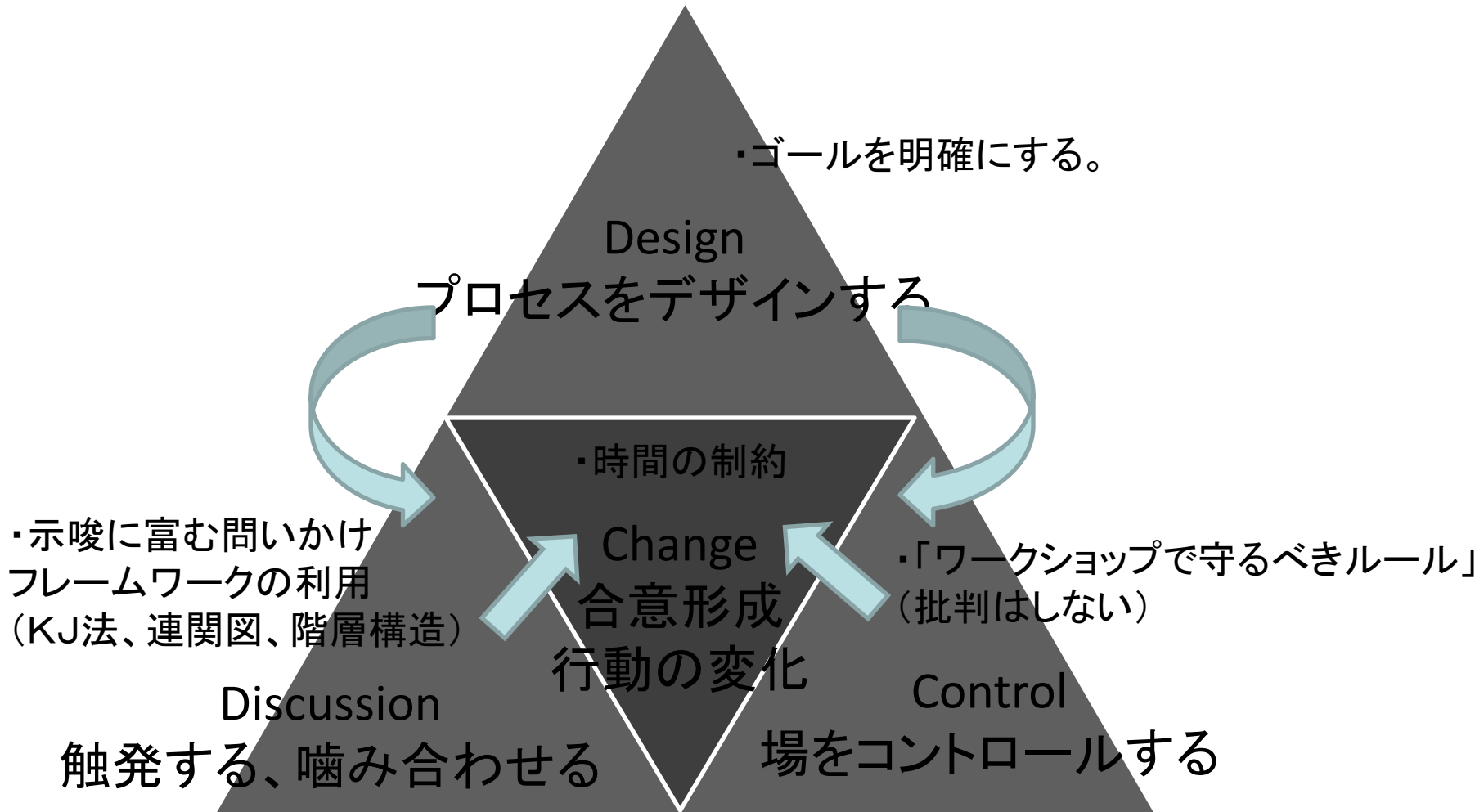
古都奈良

5.5 古都奈良のイメージを守る

復旧・復興

6. 復興を視野に入れる

# ファシリテーションとは



# ファシリテーター心得 1

【Design:ゴールを明確にする】

## 第1回ワークショップにおけるファシリテーションの目標

- できるだけ多くのアイディアカードを集めること
- 様々な整理の構造を見いだすこと→共通項目を計画整理の軸として利用

【Control:「ワークショップで守るべきルール」】

- ファシリテーターは中立
- 意見に対する批判はしない（参加者全員）



# ファシリテーター心得 2

【Discussion:示唆に富む問いかけ、フレームワークの利用】

## 議論への介入

- 議論をさらに発展させる方向で質問
  - 「防災教育を拡充させる」って、どういう事ですかね？
- グループ内での議論に従って、整理の方向性を案として提示してみる
  - こういう方向で整理してみてもどうですかね。

【Consensus:時間までに完成させる】

# ワークシヨツプグッズ

- ラッシヨンペン（黒：人数分+20本、赤：各テーブル3本程度）



- プロッキー8色セット（テーブル数分+予備5）
  - 裏写りしない事が重要です。



- 模造紙（テーブル数×10枚）
  - 罫線入りが使いやすい

- セロテープ（テーブル数分+予備5）
  - 最後に模造紙の上のポストイットを止めるので沢山必要です。

- ホチキス（テーブル数+予備5）

- はさみ（テーブル数+予備）

- ポストイット（黄色：テーブル数×5束、青：テーブル数×3束、予備<各色>）

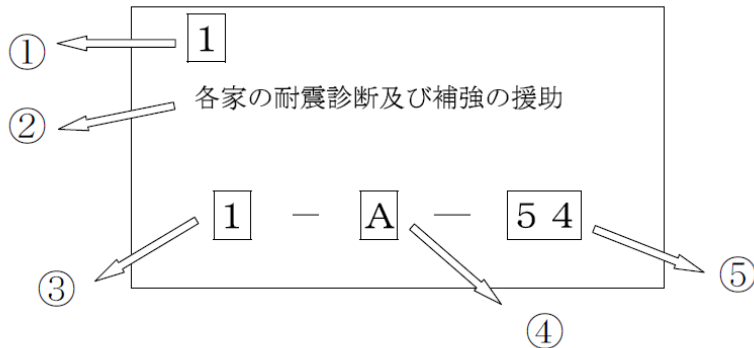
- サイズは正方形のもの

- その他：のり、鉛筆、消しゴム



# カードデータの電子化

## カード説明



- ① 施策の柱
1. 地震に強いまちをつくる
  2. 地域の防災力を向上させる
  3. 的確な防災情報処理を実施する
  4. 人的資源を確保する
  5. 市民のいのちを守る
  6. 安全・安心を守る
  7. 生活基盤を安定させる
  8. 市民の生活を支援する
  9. 天理市のイメージを守る
  10. 復興を視野に入れる
- ② 事業項目
- ③ 総合ID (通し番号)
- ④ 出 所 (A市職員公募・B他市抜粋)
- ⑤ 各課番号 (策定作業名簿の番号)

出典:奈良県市町村APガイドライン